

議会だより

令和元年11月定例会版



11月26日 きびじ農業後継者クラブ

～若者の声を聴く～ 広聴広報委員会



12月5日 令和2年総社市成人記念式実行委員会

主な内容	11月定例会市議会	2ページ
	委員会活動報告	10ページ
	地域づくり協議会との意見交換会	12ページ
	各種団体との懇談会	14ページ
	議員研修について	15ページ
	復興に向けて・その軌跡(vol.5)	16ページ

副市長に大塚康裕氏を選任 全会一致で同意

11月定例市議会

11月定例市議会を11月29日から12月20日までの22日間の会期で開き、議案36件、請願2件(3ページ参照)を審査しました。

最終日には副市長、大塚康裕氏の選任に同意しました。任期は令和2年1月1日から4年間です。

総社市赤米ヒカリノミ基金条例の制定について

新本地区で古来より受け継がれる赤米栽培文化の保存、継承などの経費に充てるための基金新設の条例です。

令和元年度総社市一般会計補正予算(第4号) 赤米振興の趣旨は理解でき、赤米フェスタの参加料の使い道と値上げした理由の討論がなされましたが、い



床が劣化している野球場のダッグアウト

購入促進の補助金として17万5千円(35台分)を計上。また、防災重点ため池のうち、6か所分のハザードマップ作成料として304万円を計上。

令和元年11月定例総社市議会 付議事件採決一覧表

Table with columns: 番号, 付議事件, 結果. Lists various council resolutions and their outcomes.

令和元年11月定例総社市議会での賛否の分かれた議案等に対する賛否状況

Table showing approval/disapproval status for various council resolutions across different council members.

(凡例) ○:賛成 ×:賛成でない 退:退席 欠:欠席 賛否の確認は、議長及び事務局職員の目視により行っています。

あいさつ状の禁止について

公職選挙法の規定により、公職の候補者又は公職の候補者となる者(公職にある者を含む)は、当該選挙区内にある者に対し、答礼のための自筆によるものを除き、年賀状、寒中見舞状、暑中見舞状その他これらに類するあいさつ状を出してはならないこととされています。

議長交際費執行状況

Table showing the execution status of council leader's social expenses for November and December.

2月定例市議会の予定

Table showing the schedule for the February regular council meeting, including dates and topics.



高谷 幸男

問 総合計画の後期基本計画の策定方針はどう考えるか

答 安全安心と市民に寄り添う政策を基本としたい

問 中期財政計画から見て、特に何を重点に置いた政策とする考え方がか。

市長 従来の黒字から災害により厳しいが、新庁舎建設を含め、基金の確保などを考えた市政運営としたい。

教育について

問 義務教育施設などの将来的な整備計画について、文部科学省の方針を考慮した今後の対応はどうか。

市長 大規模校の分離も考えられるが、小規模の小・幼はできるだけ残したい。

教育長 市長と同意見である。なお、学校一括交付金制度もいかした活動もしたい。

問 学校の適正規模、適正配置の教育環境をどう考えるか。特に、国の小・中学校の適正



萱野 哲也

問 市長が代表を務める公社に業務委託するのは問題だが行き過ぎないようにバランスが大切だ

答 はカレーではなく、ふるさと納税のおかげだ。また、平成29年の監査でも「採算ラインの確保は職員が携わることでなしえている。全体の奉仕者である地方公務員が行う事業として疑問を生じる。」と指摘を受けている。このような体質をどうしていくのか。

問 小学校カレーや消防署カレーを売る目的と効果はどうか。

市長 目的は全国発信で、効果は出ている。

問 平成28年の販売から新商品が随時販売されているが、毎年売上げは下がっているがどうか。

市長 職員総出で売っていく。カレー販売元は市長が代表を務める公社であり、市職員を使って公社の収益事業としているカレーの販売をしているのは問題だがどうか。

市長 公社が黒字で一般会計から税金を投入しなければ良い。

問 公社を赤字経営にしないために市職員を使ってカレーを販売している。黒字の原因

市長 水道会計は黒字なので問題はない。

問 大きなどんぶりの中で黒字でも、小さな事業で採算が取れているか考えないのか。

市長 いちいち考えない。



難波 正吾

問 ダムの事前放流の経過はどうか

答 事前放流の告知は下流域の貴重な成果だ

問 事前放流の告知についてどう考えているか。

市長 下流域の私たちが心を込めて中国電力と折衝して勝ち得た画期的な成果だ。

問 看板はどこに何箇所立っているのか。

政策監 現在、水内橋北河原入口と下倉コミュニティ広場入口の2箇所に設置されている。今年度に、秦のふれあい広場・そうじゃ水辺の楽校・井尻野オートキャンプ場・高梁川河川敷グラウンド・中原コミュニティ広場・きよね水辺の楽校・清音河川敷グラウンドの7箇所に設置予定だ。



水内橋北河原入口の看板

砂川、血吸川の雑木、雑草の整備について

問 県管理だが、雑木や雑草が生い茂っている。国道180号北100mくらいまでは整備されているが、長良以北は荒れている。県にしっかりと要望するのか。



砂川の雑木等(長良地内)

市長 県管理だから我々は何もしない、関係ないという言い方はしない。砂川は、上流から伐採しているようだが要望していく。血吸川は、西阿曾地内の災害復旧工事を行っているがお願いしていく。



小西 利一

問 昨年の豪雨災害を受けて本市はどう変わったのか

答 避難所の見直し、ハザードマップの見直し等行った

問 住民に対する避難指示、避難勧告の手段はどう変わったのか。

市長 総社市公式LINEでの避難情報発信などで住民への告知を行うことにした。

問 避難所の見直し、避難所の環境整備は行ったのか。

市長 新たに民間の協力をもらい、マンションやビルを避難所に指定した。

問 自主防災組織の状況はどうか。

政策監 現在、市内の組織率は72%である。

市長 今後も早急に増やす努力をしていく。

問 他自治体への支援、若しくは支援要請はどういう基準で行っているのか。

市長 現在、総社市に派遣し

でもらっている自治体へは派遣し、協定を結んでいる22の自治体を中心に派遣し、要請も行っている。

行政一元化システムについて

問 行政一元化システムを構築するにあたり、組織としてどのように取り組むのか。

市長 将来、新市庁舎の1階フロアにおいて、ワンストップで完結できるようにすることが理想である。

問 新市庁舎へ、そのアイデアを盛り込んでいくのか。

市長 今後の協議の中で議論を進めていく。



*文中の「公社」は「そうじゃ地食べ公社」のこと



溝手 宣良

まちづくりについて

問 槻地区にトイレを設置し、高滝山をもっとPRしてはどうか。

市長 高滝山は大いなる可能性を持っている。前向きに検討したい。

問 各地域の地域づくり協議会に対して「LRT化に向けた説明会」がなされているが、LRT化は既定路線なのか。

市長 基本構想をお示しするために意見を伺っている。あり、まだ何も決まっていない。LRT化することが本市にとって最適なのか。

市長 JR西日本に桃太郎線を廃線にするとされるのが一番困ること。そうならないように議論を深めていかねばならない。

吉備線のLRT化は既定路線なのか

問 まだ何も決まっていないこれから議論が始まる

答 雪舟くんの運行体系の改善はできないか。

市長 不便さをよく聞く。運行時間と運行日については本年度中までに何らかのリスクアウト(再出発)ができる予定だ。

問 市外への運行はどうか。

市長 市外へは難しい。

問 MaaSを導入し、住民にも参加協力してもらい、市外への運行等の問題解決を図れないか。

市長 MaaSは難しいと思っているが、よく調べて検討してみる。

問 企業誘致は進めるのか。

市長 地域未来投資促進法に基づき、どんどん進めていきたい。人口10万人のまちを指す心意気を持っていく。



三上 周治

今後の市政運営について

問 政策の特徴はなにか。

市長 一元化とか弱い立場の人たちのために頑張り、燃え尽きる気持ちが自分にあるかないかでやる。

問 中長期の本市をどのよう

市長 人口増による企業誘致などで税収増の部分を4対6でやっていく。光の当たらない弱い立場の人に光を当てる。福祉文化都市を目指す。

問 多忙のため、総社市長としての公務に支障は出ていないか。

市長 庁内の業務が停滞しないように日程作りからやる。市長としての公務と政治家としての政務をどう分けて

頑張っている市民を応援する事業を創設できないか

答 前向きに考える

いるのか。

政策監 線引きは難しいが判断は秘書がしている。

問 人づくりと職員配置はどうか。

市長 職員教育は労力もお金もかけてやっていく。そのことが市民を守るためであるので全力で職員教育をやる。

大型事業について

問 ビッグ3とはなにか。

市長 新庁舎建設、美術博物館建設、LRTである。

問 大型事業を実施するための財源は大丈夫か。

市長 令和6年までの中期財政見通しに示している財政調政基金を維持したい。令和6年までは新庁舎建設だけだ。実質公債費率は一桁台を維持したい。



頓宮 美津子

SDGsについて取り組むべきだがどうか

問 広く市民にも周知して進めたい

答 力を入れていきたい。今後はプラスチックごみの回収も考えていく。

問 ジェンダー平等はどうか。保険証なども通称での記載が認められているかどうか。

市長 保険証等も含め、諸証明申請の性別記入欄の削除や職員研修等を進めていく。



SDGsの17の目標

*MaaS…Mobility as a Service (モビリティ・アズ・ア・サービス) 個人々の移動を最適化するために様々な移動手段を活用し、利用者の利便性を高めるもの



村木 理 英

問 働き方改革が進んでいる中で、市内中学校部活動の指導者の確保をどのように考えるか。

市長 由々しき事態と考える。部活動の指導に充てる時間を捻出するのに大変苦慮している。

問 また一方で、退職した優秀な元指導者がその手腕を買われ市外の私立学校へ流出している。その認識はあるか。

市長 認識している。

教育長 認識している。

問 この流出は人材の損失であるという認識はどうか。

市長 認識している。

教育長 認識している。

問 退職した優秀な元指導者を再任用する、総社市独自の雇用制度を構築する考えはどうか。

問 部活動の元指導者の再任用の考えはどうか。
答 雇用制度を構築すべきと考える。

うか。

市長 構築すべきである。
教育長 構築する必要性を感じている。

問 このことは優秀な人材の確保、高齢者の雇用の拡大に繋がると考えるが、どうか。

市長 この制度は総社市が大きく化ける可能性を持つていて、この制度を作っていく方向で考えたい。



スポーツ庁のガイドラインを受け、岡山県並びに総社市教育委員会では運動部活動の在り方に関する方針が打ち出されている。



山田 雅 徳

問 地区防災計画を策定する上で、「防災重点ため池」を把握することは重要である。新しいハザードマップに場所を示すことはできないか。

市長 昨年の災害で「防災重点ため池」の設定基準が変わり、以前は8箇所だったものが、211箇所が増えた。「千年に一度」の大雨を想定したハザードマップにするために「防災重点ため池」の場所も地図に落とし込みたい。

高齢者の交通事故防止対策 運転免許証の自主返納を促す取組も大切である。一方で、安全に運転できる方には、安全な自動車に乗っていただきたい。連日報道されている「アクセルとブレーキの踏み間違い事故」防止対策として、

問 運転免許証の自主返納を促す取組も大切である。

市長 歩いて避難できる場所を考えてはどうか。
答 必要に応じて場所を検討する。

問 洪水・土砂災害版ハザードマップ完成見通しはどうか
答 改訂版を年度末までに完成させ、市民に配布したい

県内他市町村も実施を始めた「安全運転サポート車」の購入支援や「後付け装置」の整備に対する補助制度設立に対する考えはどうか。

市長 国の動きも見ながら、本市でどういった支援ができるのか見極めたい。



県警主催の体験会チラシ

問 百聞は一見に如かず。これらの安全装置を装備した自動車に実際に触れて、体験してみることが必要と考えるがどうか。

市長 私自身を含め、老若男女が体験する機会を作りたい。



津 神 謙 太 郎

市長 雪舟が赤浜で生まれたことを雪舟サミットで明確にしたい。また、公園を2つのゾーンに分け、1つは雪舟の年表、室町時代風の建物、銅像を考えている。もう1つは、多目的広場でレクリエーション等に使用できるように考えている。

防災について

問 ハザードマップはいつできるのか。

市長 今年度中にしたい。ため池や議会で作られたことも落とし込んで作成したいと考えている。避難所は全て明記し、高梁川が決壊した場合は、ここまで浸かるから、使用できない、できるを明記する。また、民間のマンションやビルで3階以上の建物がある場

問 雪舟生誕地公園の活用をどう考えているか

答 オープン記念式典と雪舟サミットの開催を考えている

合は避難場所として利用できるように考えている。

問 高齢者・弱者対応は何を考えているのか。対象は何人か。

市長 市役所、社会福祉協議会、地区協議会等で検討している。

政策監 2210名が対象になる。

教育行政について

問 三須幼稚園で預かり保育をする予定はあるか。

教育長 今、市内で8園が預かり保育をしている。今、待機児童が増えているので、10名以上の希望があればやりたいと思っている。



小 西 義 已

問 避難場所は適正なのか。秦地内の避難場所(秦分館、上秦公会堂、選果場)は水害に適していない。秦小学校は土砂災害の危険性があり、サントピア岡山総社へは車で移動しなければならぬ。歩いて行ける避難場所はできないか。

市長 避難場所については検討する必要がある。

問 歩いて避難できる場所を考えてはどうか
答 必要に応じて場所を検討する。

程度との話であった。

問 服部、県立大付近の都市計画に基づき、時間短縮や経費を考えての複線化はできないか。

市長 まだ計画段階にない。

石原公園のSLについて
問 SLの化粧直しが行われているが、完成後、フェンスの撤去はできないか。

市長 フェンスはないほうが良いと思う。検討したい。



災害避難場所を示す看板

問 桃太郎線LRT化について
市長 LRT化の実施はいつか。3者合意時には10年後



再塗装が完了したSL



三宅 啓介

問 介護予防につなげる口腔ケア台帳を作成してはどうか

答 口腔ケア台帳を作り介護予防に活用したい

問 介護予防において口腔ケアは重要である。本市の取組はどうか。

市長 オーラルフレイル(口腔機能虚弱予防事業)、病院や歯科医師と連携した入院中の口腔ケア、愛育委員・栄養委員による「かみかみ100歳体操」などを実施している。

問 今以上に歯科医師・歯科衛生士に協力をしてもらい、口腔ケア講座などの地域巡回の充実ができないか。

市長 とても重要なことで、やっていくべきと考える。更に歯科医師会や関連機関と協力し介護予防分野の1つとして口腔ケアに全力で取り組む。介護予防に特化した政策展開をしていく総社市にしたい。

問 口腔ケア台帳を作って健

康維持や介護予防に役立ててはどうか。

市長 地域包括支援センターで行っている高齢者実態把握事業など各種事業で得られる口腔情報を基に口腔ケア台帳を作り、健康指導や介護予防の取組につなげたい。

問 歯科定期検診を促す事業の創設はできないか。

市長 75歳以上の後期高齢者の方々の歯科検診事業を創設する。虫歯が無くても歯医者に行く啓発活動も広め口腔ケアの意識改革につなげたい。現在、40歳・45歳・50歳など5歳刻みで歯周病検診を行なっているが受診率が非常に悪いので、受診率を上げる努力もしていく。

総務生活委員会

当委員会で審査した案件は、議案4件であり、全て原案どおり可決しました。

主な内容は次のとおりです。

《11月定例会》

●総社市印鑑登録及び証明に関する条例の一部改正について(議案第78号)

個人番号カードによる印鑑登録証明書の申請及び交付を可能とするため、関係条文の整備を行うとするものです。

問 マイナンバーカードを取得している人は何人か。また、率にすると何パーセントか。

答 11月末現在、8050人で取得率は11.64%である。市民課でのオンライン申請のPRや広報誌、ホームページ、SNS等を活用してさらに普及に努めたい。

●令和元年度総社市一般会計補正予算(第4号)(議案第96号)(所管部分)

《補正予算の主な内容》

・防災経費の増額や文書管理経費の増額

問 防災士育成補助金8人分を計上しているが、どのような活動をしているのか。

答 平成25年度に開始したこの制度を利用した習得者は38人で、防災士の会を立ち上げ約半数が参加している。また、本市が実施している訓練等に参加している。

文教福祉委員会

当委員会で審査した案件は、議案17件、請願2件であり、全て原案どおり可決しました。(請願2件は不採択)

主な内容は次のとおりです。

《11月定例会》

●令和元年度総社市一般会計補正予算(第4号)(議案第96号)(所管部分)

《補正予算の主な内容》

- ・更生医療費の負担額の増額
- ・山手スポーツ広場の板柵設置工事費の増額

問 扶助費の増額だが、対象

者によっては食生活の指導が必要と考えるがどうか。食生活チェックシートを作るなど対応が必要ではないか。

答 来年度から国も保健指導を行うよう対策が取られる見込みである。対象者に対して今まで以上に食生活について話をしていく。また、レセプトを分析し、保健師をまじえて対策を取っていきたい。

●令和元年度総社市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)(議案97号)

給付費増加等に伴う一般被保険者療養給付費を増額するものです。

問 どのような疾病が増えていくのか。

答 70歳から74歳の方が多く、癌と骨の疾病が多い。

産業建設委員会

当委員会で審査した案件は、議案8件であり、全て原案どおり可決しました。

主な内容は次のとおりです。

《11月定例会》

●総社市赤米ヒカリノミ基金条例の制定について(議案第90号)

赤米文化の保存、活用及び継承に要する経費に充てるため、基金を創設しようとするものです。

問 過去4回赤米フェスタを実施し、売上げは赤米ヒカリノミ基金へ寄附するということだったが、今回初めて基金条例を制定するのはなぜか。

答 今までは金額が少額であったため、任意の形での基金として保管していた。事業も軌道に乗り、金額も大きくなったので正式に基金条例を制定しようとするものである。

問 入場料が1回目比べて今年度は3倍になっている。当初から基金を運用しようと考え入場料を値上げしたのか。

答 入場料の設定については、赤米フェスタが回を重ねてきて人気のある事業として定着したことから事務局で検

討して3千円に設定した。◎質疑を終結した後討論に入り、山田委員から「赤米自体は総社市の伝統文化ということとで理解し、3市町の交流についても賛同できるが、基金の運用についての答弁が納得できるものではなく、市民に對して説明できない。」旨の反対討論がありました。起立採決の結果、可否同数で、委員長採決により原案を可決すべきであると決定いたしました。

●令和元年度総社市一般会計補正予算(第4号)(議案第96号)(所管部分)

《補正予算の主な内容》

- ・赤米ヒカリノミ基金積立金の計上

問 赤米ヒカリノミ基金への積立てについて、357万円を基金に積み立てるといふことだが、繰越分は全額積み立てるといふことか。

答 前年度からの繰越分30万円と今年度の赤米フェスタの寄附金分327万円の合計3

57万円を計上している。

問 防災重点ため池のハザードマップの作成は、市内には211箇所、防災重点ため池があるが、年間10箇所程度しかできないのか。

答 地域でワークショップ等を行って作成することになっており、この作業を行うと年間10箇所でも時間的には厳しいと認識している。

◎質疑を終結した後討論に入り、山田委員から「赤米ヒカリノミ基金積立金について先ほどの議案第90号でも反対したが、今までの金額の繰越に比べて、高額な繰越となっており、それに対するお金の流れが市民に対して説明できない部分がある。」旨の反対討論がありました。起立採決の結果、可否同数で、委員長採決により原案を可決すべきであると決定いたしました。

地域づくり協議会との意見交換会

総社市コミュニティ地域づくり協議会代表者との意見交換会

(令和元年11月25日開催)

平成29年9月の市議会改選を受けての議会だより53号に掲載した議員の一言メッセージを基に、4年任期の半分にあたる2年の議員活動の評価について、21名の議員がそれぞれ思いを述べました。

協議会から、「財政が厳しい折に議員定数の問題をどう考えているのか。」との質問



発言する地区会長



協議会からは17名の地区会長が出席

があり、平成26年から13回に渡って議論した議員定数調査特別委員会の内容について、お答えしました。「総社の議会はよくやっている。」との意見もありました。

政務活動費の関係では、「議員が研修で学んだことを、どう市政に反映させているか市民により分かるようにしてほしい。」との意見がありました。これに対して、政務活動費の収支報告書が議会事務

局と議会のホームページで閲覧でき、研修報告書は議会事務局で閲覧できることを説明しました。皆様ありがとうございます。

(岡崎亨一)

清音地域づくり協議会との意見交換会

(令和元年10月3日開催)

一昨年の豪雨災害、市内では昭和地区と下原地区の被害が甚大で注目を集めました。清音地区も多くの浸水被害を受けました。心よりお見舞い申し上げます。

意見交換では、災害関連のことが多く取り上げられました。黒田地区には市から安否確認さえなかったこと、支援物資が届かなかったこと、福祉避難の在り方等が議論になりました。また、軽部排水機場の排水ポンプは容量アップだけではなく、吐出先までの配管の在り方を心配される声

が上がりました。他には、狭小な道路を通る車のマナーの悪さや危険性、そのことに関連した市の対応、清音福祉センターの運営や農業後継者問題等々でした。意見全てが切実なものです。すぐに改善できるものばかりではありませんが、地域の方が安心して暮らせるよう努めなければならぬと、参加議員一同、決意を新たにしました。

(溝手宣良)



清音公民館で開催した意見交換会

総社北小学校区地域づくり協議会との意見交換会

(令和元年11月17日開催・2回目)

主な意見は、交通安全についてです。「町内を通っている黒尾線は年々交通量が増え危険な状態だ。早急に国道バイパス工事を進めてほしい。進捗状況はどうか。」と尋ねられました。関連して、「総社小学校から福井新田に抜ける黒尾線との三差路も大変危険だ。さらに、泉東町内から黒尾線を渡る横断歩道の改善を要求しているが、なかなか進まない。議会も協力してほ



総社北小付近の交通量を確認

しい。」次に「今回起きた元市議会議員の事件について議長、副議長はどのように対応し、本会議にどのように諮ったのか詳細を教えてください。」との意見があり、当時議長であった加藤議員が詳細に回答しました。

また、小児医療費について、幼保無償化について、LRT化について、北分館のトイレの洋式化について等、市政全般にわたって様々な意見がありました。

(三上周治)

阿曾小学校区地域づくり協議会との意見交換会

(令和元年11月27日開催・2回目)

まず、出席者からの意見として、ため池の問題が上がりました。議会側から防災重点ため池は市内に211箇所あるうち、阿曾地区は18箇所あるとお答えしました。今後ハザードマップを作成していく

など、国の動向を詳しくお伝えして、対策をしっかりと委員会等で協議することとしました。

次に、砂川・足守川・血吸川などの河川の浚渫(土砂撤去)も心配であるとの意見が上がりました。

他には、東部地域は忘れられているのではとの意見も。議会としては、他の地域同様改善をしなければならぬと認識していることをお伝えしました。

また、阿曾地区にも他の地域から移転されて来られている方も増えており、野焼きの問題が上がりました。農家と非農家との共生を考えていく上では乗り越えなくてはならない課題です。行政とも一緒に課題解決に向かっていくことといたしました。

子育て問題、防災計画問題、高齢者のお弁当配布のこと等の意見もあり、時間が足りな

間半でした。会の終了後に、話に出ている豪雨で壊れた橋、土砂災害危険区域の看板など現地の確認に行きました。皆様からの意見要望は、しっかりと応えしていくことを肝に銘じて阿曾を後にしました。

(頓宮美津子)



足守川に架かる壊れたままの橋を確認

「若者の声を聴く！」
各種団体との懇談会

～ 広聴広報委員会 ～

きびじ農業後継者クラブとの懇談会

(令和元年11月26日開催)

市内各地で活躍している農業後継者のうち10名の方々と懇談会を開催しました。

後継者と言っても様々で、親から引き継いだ方やインターンで総社市に来て初めて農業に携わった方などです。集まったメンバーは、20代から30代の若者世代で、就農してから5年以内の方もいました。

理念として、農業は夢のある仕事だということを未来の子供たちに伝えるのも使命だと感じていると話してくれました。

意見としては、県外へのPR活動に市も積極的に協力してほしい。また、地域の保



和やかな雰囲気進む懇談会

全(た)め池の管理・草刈り(個人・農家で)を行うに(は)限界がある。有害鳥獣対策、市有地の借用について等、多岐に渡りました。

インターンの方からは、「今思えば感謝しかない。」と感謝の気持ちを熱く語られました。限られた時間でしたが、後継者クラブのみなさんの熱い思いを聴くことができました。(三上周治)

※インターン：都市から出身地とは違う地方に移住すること

令和2年総社市成人記念式
実行委員会との懇談会

(令和元年12月5日開催)

昨年に引き続き、実行委員会の方と懇談会を開催しました。

実行委員会の方から、「住んでいる地域によっては交通の不便性を感じている」、「側溝が多く危険だ」といった意見がありました。その不便性から将来は利便性を求めて「他の地域に住みたい」とも言われました。

一方で、「静かで自然豊かな総社市に住みたい」との意見も。

政治に(関)して(は)、親(から)選(挙)の(話)を(さ)れ(て)投(票)に(行)つ(た)とい(う)見(え)も。



多岐にわたる20歳の意見

う方、家族でも選挙が話題に上らないという方もおり、政治自体の言葉が難しいという感想を持たれていました。

総社市に求めるものとしては、岡山・倉敷に肩を並べようとせず総社らしさを出してほしい、中心部以外にもお金をかけてほしい、ナチュラル系の結婚式場がほしいという意見もありました。

小中学校での勉強について、もっと興味を持たせてくれるようにしてほしいといった感想もありました。

現在マーケティングやプレゼンテーションを学んでいる方から、「映画館はインターネット全盛の時代ではいらない」との意見もありました。

この懇談会では、非常に参考になる20歳の意見を聴くことができました。将来を担う若者の意見も重要視して今後の市政に反映できるようにしたいと思いました。

(岡崎亨一)

総社市議会議員研修

「災害時における議会・議員の役割と取り組み」を学ぶ

講師 跡見学園女子大学

観光コミュニケーション学部

鍵屋 一先生

昨年11月22日、板橋区危機管理担当部長も歴任された鍵屋先生を迎えて議員研修を行いました。

まず阪神・淡路大震災、東日本大震災などの教訓の確認をしました。東日本大震災の教訓は亡くなられた方のうち高齢者が約6割、障がい者は死亡率が2倍でした。それは体力がない、地域とのつながりが弱いからです。このことから、日頃の近所や福祉とのつながりが大事であることを強調されました。更に、自治体職員・消防団員・民生委員・福祉施設員などの守り手や支援者の死亡も多かったとご指摘がありました。近年の関連死の増大も含めて、福祉防災計画の必要性も述べられました。また平常時からの対

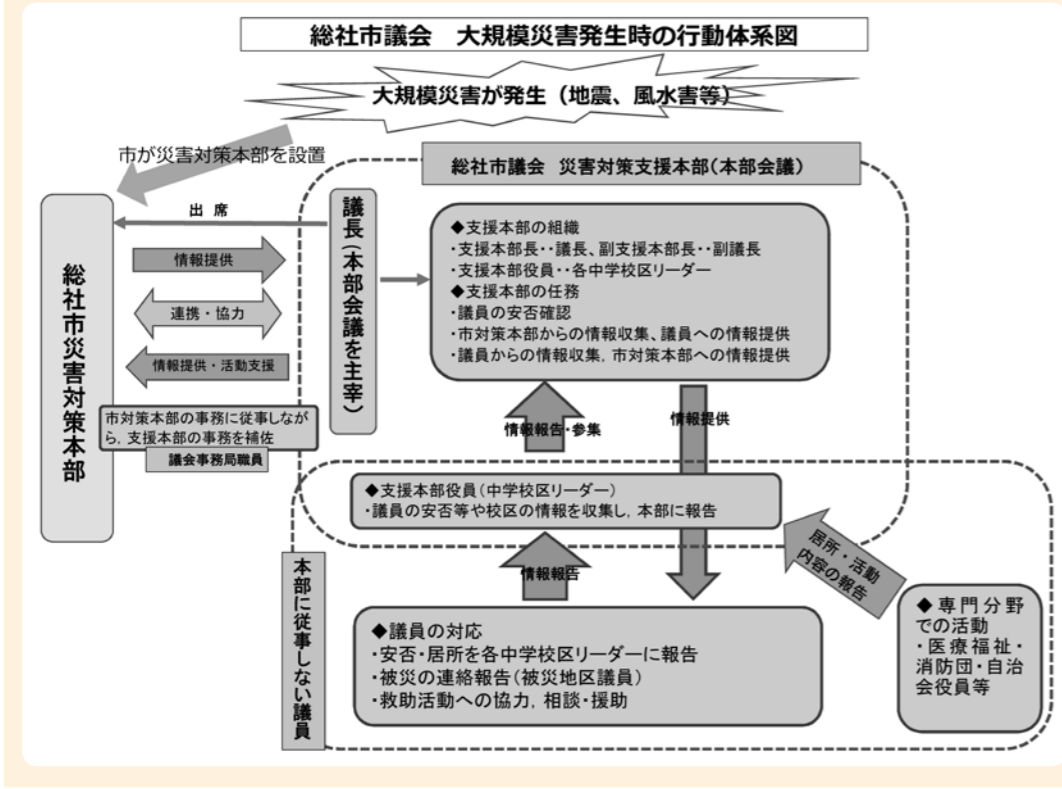
応なども御指南いただきました。本市では、災害時の議会行動要領を作成していますので、まずは、実地訓練などを行い、住民の命を守ることが議会の使命であると自覚し、危機管理を強めていきます。

(頓宮美津子)



ワークショップで災害対応を想定

「総社市議会大規模災害発生時における対応要領」を定めました



平成30年7月豪雨災害の経験をもとに、今後の災害時における議会対応要領を作成しました。議員は中学校区単位で情報収集に努め、更に専門分野での活動も組み込み、全市的な支援に寄与することを定めた行動体系としています。

復興に向けて・その軌跡 (vol.5) 少しずつ動き出した河川改修工事

広聴広報委員会では、決して忘れてはいけない被災地の現状を追うため、高梁川沿線を中心に河川改修の進捗状況の視察を行いました。ほぼ復旧工事を終えた箇所や今までの手を付けることのなかった河川改修工事の現場を見ることができました。特に、高梁川へ合流する新本川の伐採状況(写真①)は、決して大きすぎでなく初めて見た景色でした。その他にも新本川の改修工事(写真②)や高梁川秦地区の浚渫(土砂撤去)工事(写真③)、注目されることのなかった血吸川の現状(写真④)などを視察しました。今回の視察では、まだまだ復興への道のりはこれからだと改めて感じました。これからも、広聴広報委員会では注視してまいります。

(三上周治)



①伐採が完了した新本川(下原地内)



②改修工事が進む新本川(八代地内)



③浚渫(土砂撤去)工事が進む高梁川(秦地内)



④雑木や雑草でおおわれている血吸川(西阿曾地内)



復旧が進む高梁川堤防(下倉地内)



伐採が進む高梁川(美袋地内)

編集後記

広聴広報委員会は、昨年10月から新たな委員で活動しています。引き続き、市民の皆様、議会を身近に感じていただけるよう、分かりやすい内容とし、多くの写真も掲載していきます。

特に各種団体との懇談会は積極的に行ってまいります。今回の議会だよりでは、きびじ農業後継者クラブと令和2年総社市成人記念式実行委員会との懇談会の様子を掲載しています。

これからも、皆様のご協力を賜りますよう、よろしくお願いたします。

(赤澤康宏)

◆広聴広報委員会のメンバーは次のとおりです。

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 赤澤 康宏 |
| 副委員長 | 三上 周治 |
| 委員 | 山田 雅徳 |
| 委員 | 溝手 宣良 |
| 委員 | 三宅 啓介 |
| 委員 | 岡崎 亨一 |
| 委員 | 頓宮美津子 |